

<p>国鉄改革完遂！          当たり前の労働運動を          前進させよう！          JR 東海労に          結集しよう！</p>	<p>J R          東海労</p>	<p>静岡</p>	<p>J R 東海労働組合静岡地方本部          〒420-0851          静岡市葵区黒金町68番地          N T T 054-284-3608          発行責任者： 半場弘恭          2023年 3月6日 No.32</p>
--	-----------------------------	-----------	---

## 2023 J R 総連春闘を職場から闘おう④

# ベアとは賃金とはなにか！

## 10,000円を含む要求の満額支給は可能だ！

消費者物価指数は、3.7%以上となり、春闘で大幅な賃上げが実現しない限り、生活水準は低下することとなります。しかし、経営者は、賃金は企業の生産性（付加価値）に依存していると考えています。ですから、労働者が生産性を上げるという約束の下に賃金を上げることとなります。生産性は、設備を増やし新しい機械を入れ労働者の働き度を高めることで、より多くの価値のある商品を生産することです。

J R 東海は、800 億円のコスト削減と 2,500 人の要員を削減する業務改革を推進しています。チケットレス、人に変わるシステム・ICT 等を活用した新たな仕事の進め方、社員のスキルアップでシステムの垣根を超え、生産性を上げようとしています。また、効率的な仕事を自ら考え創意工夫する社員づくりも目的としています。現場で働く社員にとっては残業や新しいシステムに関わる知識の習得が大きな負担となります。家族にもしわ寄せがきています。ワンステップや業研は効率化を加速させ、社員も会社が儲ければ賃金も上がる、少々問題があっても我慢しようと思えます。しかし、会社は、この間社員の努力で得た利益から内部留保 1 兆 9,327 億円をため込んでいます。

一旦賃金が決定されると、経営者は、労働者をすきなように働かせ収益を上げ、生産性を上げるためのスキルアップした労働力も獲得します。ですから労働組合が、賃上げは成果の分け前を貰うとい闘いでは、経営者に押さえ込まれてしまいます。賃金は労働の対価と言うものではなくではなく、次に働いてもらうための労働者の費用＝労働力の再生産費なのです。そのため、高く労働力を売ろうと労働組合に団結して、将来にわたって生活の向上を目指すベアを求め闘うのが春闘です。政府が決めるものでもなく、労働者と資本家と闘いで決めるものです。JR 東海の内部留保と、黒字に転換した第三四半期決算からすれば容易に 10,000 円を含む要求の満額支給は可能です。